

垂水市教育委員会

令和 8 年度第 3 回教育委員会定例会

開催日 令和 8 年 6 月 15 日 (月)

時 間 午後 2 時から

場 所 市民館 2 階第 2 研修室

会議日程

1 開 会

2 令和8年度第2回定例会会議録の承認について

3 議 事

※(非)印の案件は、非公開となる場合があります。

報告第14号 令和 8 年度垂水市一般会計補正予算（第 1 号）案についての市長への意見申出について

報告第15号 令和 8 年度垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

報告第16号 垂水市文化財保護審議会委員の委嘱について

4 動議の討論等

5 その他

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

令和8年度 第3回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和8年6月15日（月）	教 育 長 明 石 浩 久	教育総務課長 堀 留 豊
午後3時00分	教 育 委 員 吉 富 和 夫	学校教育課長 西 啓 亨
↓		
午後4時10分	教 育 委 員 葛 迫 幸 平	社会教育課長 大 迫 隆 男
第2研修室	教 育 委 員 田之上 厚美	
	教 育 委 員 福 里 由 加	

会 議 要 旨

1 開 会

台風6号の影響で6月4日実施予定であった新城小学校と柊原小学校の学校経営説明を開会前の午後2時から行い、両校の学校経営説明終了後の午後3時に定足数を確認し、令和8年度第3回教育委員会定例会を開会した。

2 前回会議録の承認について

令和8年度第2回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で可決された。

3 議 事

報告第14号 令和8年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への意見申出について

報告第15号 令和8年度垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

報告第16号 垂水市文化財保護審議会委員の委嘱について

4 動議の討論等

5 その他

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第14号 令和8年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への意見申出について	補正予算案の調製にあたり、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの	特記事項なし	承認
報告第15号 令和8年度垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	本運営審議会委員について、委員を委嘱したことを報告するもの	特記事項なし	承認
報告第16号 垂水市文化財保護審議会委員の委嘱について	本審議会委員について、委員を委嘱したことを報告するもの	特記事項なし	承認

議 事 内 容 等

3 議 事	
教育総務課長	報告第14号 令和8年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への意見申出について ＜資料に沿って説明＞ （質疑） なし （採決） 承認

教育総務課長	報告第 15 号 令和 8 年度垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について ＜資料に沿って説明＞ (質疑) なし (採決) 承認
社会教育課長	報告第 16 号 垂水市文化財保護審議会委員の委嘱について ＜資料に沿って説明＞ (質疑) なし (採決) 承認
4 動議の討論等	(なし)
5 その他	
教育総務課長	教育総務課から令和 8 年度第 1 回垂水市教育委員会評価委員会について報告します。教育委員の皆様には、令和 7 年度分自己点検について、適切に評価していただきありがとうございました。 教育委員会の事務の点検評価制度は、地方行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会は毎年、事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめ、議会への提出と公表が義務づけられています。今回、資料のとおり、教育委員会各課の自己評価、教育委員の自己評価についてまとめましたので、第 1 回の外部評価委員会を 7 月 3 日、第 2 回を 7 月 22 日に開催する予定です。この外部評価委員会の結果については、速やかに取りまとめを行い、8 月開催の第 5 回定例教育委員会で審議いただく予定でございます。
教育長	教育総務課長から外部評価委員会につきまして、報告がありました。教育委員による評価につきまして、委員の皆様から適切に評価いただいたことに対して私の方からも感謝を申し上げます。ありがとうございました。
6 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。 まずは、福里委員からお願いしたい。
福里委員	5 月 17 日、垂水中央中学校の体育大会に参加しました。熱中症対策として、今年度は 5 月開催となりました。当日は、5 月とは思えないほど暑い 1 日でした。練習期間も短く、暑さに慣れていないので体調を崩すのではないかと心配でしたが、先生方がミストをかけてくださったり、水分補給

	などこまめに時間をとってくださったので、体調を崩す子もいなかったようでした。また、今年は1日開催ということで、生徒はとても嬉しそうでした。保護者はお弁当づくり、大変だったと思いますが、普段、体育大会に来られない方も「お弁当を食べに来た」と言って、体育大会を見に来る方もいっぱいいたと思うので、子どもたちの頑張りを見てもらえてよかったと思いました。やはり体育大会は1日開催がいいなと思いました。
田之上委員	5月17日、垂水中央中学校で体育大会の午前の部を参観しました。天気にも恵まれ、新年度が始まってひと月半での開催とは思えないすばらしい体育大会でした。みんなで心を合わせて体育大会を成功させようとする気持ちが伝わる会長さんのあいさつ、各競技や応援に真剣に取り組む生徒の皆さんの姿にとっても清々しい気持ちで拍手を送ることでした。 6月9日、垂水中央中学校の学校運営協議会に出席しました。学校経営状況説明の後、授業を参観しました。教科やクラスによっていろいろな形の授業が日常的に行われているようでした。情報交換では、いろいろな立場から夢を持つ大切さ、基礎学力の大切さ、読書の大切さ、安全面など子どもたちの成長を願う意見がでました。 台風接近で休校になったり、津波注意報が出されたりして心配な状況もありましたが、声かけをするなど細やかな安全指導をこれからも継続してお願いしたいと思います。
吉富委員	6月5日金曜日に市体育館で開催されました垂水高校の体育祭を参観しました。学年別にチーム編制がなされ、今年度は新入生が多かったため、1年生はAとBの2チームに分かれ4チームでの対戦となっていました。玉入れ、綱引き、長縄跳び、学年対抗リレー等の団体競技で競い合っていました。どの学年も和気あいあいと、協力しながら全力で競技を行い、お互いの健闘を讃えあっているのが印象的でした。また、1年生より2年生が、そして2年生より3年生がより団結力が強いかなと感じました。同学年で月日を共に過ごすことで、生徒同士の結びつきがより強くなるのでしょう。競技の勝敗に、大喜びしたり、残念がったり、学年が上になるにつれ、表情が豊かでした。2階席からは保護者が身を乗り出して、大声で声援を贈っていました。私も高校生と保護者の若い力にエールを送りたい心境でした。 6月4日に実施予定で台風のため中止となった柊原小学校と新城小学校の学校訪問の資料を拝見しました。柊原小学校では11月の市・地区研究公開に向け、テーマ研修計画に沿って研究授業が進められ、教師の授業力の向上が着実に図られると思いました。さらに、人権同和教育研修では「なかまづくり」を中心に取り組むことで、自己肯定感の向上につなげることが期待できると感じました。児童の学習状況では考察として、自己肯定感が高く粘り強く学習に取り組んでいるという文言が記載されていました。新城小学校の学習指導案、1・2学年の「情報の時間」では、タブレットのタイピングの習熟の内容が記され、タイピング習熟の体系が整っていると思いました。これまでの新城小学校のGIGAスクール構想の研究の成果が、指導案にそのまま表れていると思いました。

葛迫委員	春に開催された垂水中央中学校の体育大会、垂水小学校の運動会、垂水高校の体育祭を観覧しましたのでご報告します。 5月17日の垂水中央中学校体育大会は、例年と違って9時30分からの開催となり、昼食をとって、午後からの種目も組み込まれ15時過ぎの閉会が計画され、子どもたちは元気に楽しんでいるようでした。昨年までは午前中だけの開催となっていました、一日中の体育大会で子どもたちは喜んだのではと思います。 5月24日の垂水小学校の運動会は、昨年度から秋を春に変更して開催されました。低学年にとっては、かけっこのスタートのフライングやリレーでのバトンパスが上手くいくか、とても心配して観覧していましたが、一人一人の走りが工夫をしながら確実なバトンの受け渡しを行っていました。とてもよかったです。 6月5日に開催された垂水高校の体育祭は垂水市の体育館で平日の開催とあって少しびっくりしたところです。会場が運動場から体育館へ移動して行われ、生徒たちも最初は少し戸惑っていたような感じがしたのですが、時間が経つにつれ、女子生徒から大きな元気な声が出始め、そして、負けじと男子生徒にも元気が移っていったように思いました。 全体的な感想として、種目の中で今回、私は初めて見たのですが、「台風の目」という種目。垂水小学校、垂水高校でありましたが、この「台風の目」という種目は、棒の中央と外側をもって走り、三角コーンを回ってくる種目ですが、様々な要素が組み込まれた誰でも楽しめる競技とあって、これから普及していく種目に違いないと感じることでした。 最後に、皆さんにお配りしたこの「黒岩けい子展」のチラシですが、7月19日から街角美術館で始まります。黒岩先生は91歳ですが、垂水市で開催された国民文化祭の中で和田英作・和田香苗記念全国絵画コンクールにおいて、力を借りました。この先生にどういう力を借りたかということ、審査員を決めている中、日本画の先生が誰かいい人いないかなということで、黒岩先生のお知り合いの京都の日本画の方をお願いしたのですが、この方を紹介していただいたという経緯があり、垂水市と繋がっていると思っています。もしよかったら、街角美術館に展示してありますので、見ていただいたらありがたいと思います。
教育長	特徴的な絵画ですね。ありがとうございます。それでは、私の方から、報告させていただきます。 5月14日に高知市で全国都市教育長協議会定期総会が行われ、出席をいたしました。会議の中で文科省の方から教育行政説明があり、GIGAのことと、あともう1つ特に印象に残ったのは、平成元年度と比較して、全国的には小中学校数が約8千校、児童生徒数は640万人減少しているという状況です。国、文科省の言っている標準規模ですけれど、小学校も中学校も12学級以上18学級以下となっています。標準規模、これに満たない公立小学校が約4割、公立中学校が半分というような状況で、少し日本の行く末を心配しています。また全自治体の16.7%は、小中学校は各1校しかなく、本市も先々そうなると思います。そうなったときに、さらに子供が減っていく状況の中で、これ以上の統廃合は困難であるとなったとき、文科省の説明では、市町村の枠を超えて、学校の統廃合を考えていかなくて

はいけない現状も出てくるというお話を聞いて、大変なことだなと思い、この少子化の深刻な現状というのを改めて認識しました。

5月19日火曜日に、台湾の交流先となる蘭雅中学校の生徒が中央中を訪れて交流が行われました。交流の中では、お互いのまちの紹介の後、蘭雅中学校も楽器を持ってきたので演奏披露がありました。「テレサ・テン」メドレーでした。「つぐない」に始まり、「空港」、生徒はぽかんとしていましたが、「時の流れに身をまかせ」は知っているという反応をしていました。最後に中央中の吹奏楽部と一緒に1曲、「残酷な天使のテーゼ」を演奏して、台湾の子供たちも非常に満足して終えたという感じでした。年明けの1月19日から4日間、こちらから蘭雅中学への訪問が計画されています。青少年海外派遣事業「夢の翼」については、定員10名に対して、1年生11人、2年生14人の計25人の応募があり、2.5倍の倍率なのですが、うち6人は、事前に辞退したので、最終的に19人が選考試験を受験したということになりました。6日の土曜日に選考会を行いました。選考試験の1つは小作文で、テーマは「海外研修を通して学びたいこと」、もう1つは英会話のテストで名前を尋ねる簡単な質問から台湾で楽しみにしていることは何ですかという質問までを一連の会話として尋ねるものでした。審査については作文はある小学校の校長先生に、英会話は本市の2人の外国語活動指導講師に採点していただきました。厳正に審査を行った選考結果については、今週金曜日に保護者にお知らせする予定としております。派遣する生徒の皆さんにはこれから10回ほど事前研修を積んでもらいながら、垂水市の紹介プレゼンを作ったり、台湾のことを学んだりを重ねてもらい、本番に備えてもらうことになります。

6月12日金曜日、垂水小学校で文部科学省の研究開発学校の公開授業研究会を行いました。新設教科である情報の時間の公開でした。他の小中学校は子供たちを全員帰して、先生方が全員参加するということで、ちょうど100名の参加で授業公開が行われました。2年生は、学校で気になる写真をみんなに紹介しようということで、どんな順番で写真を並べたらいいかなと、まず、写真を選ぶところから、どの写真を選んでどんな順番で紹介しようかという授業でした。2年生ですが、しっかりとしていて、びっくりしました。それから5年生は、フェイクニュースを探せ、5つあるニュースのどれがフェイクなのかどうかということをいろいろと調べながら、これ全然情報がのってないよねとか、そのような感じでフェイクニュースを探せという、情報の真偽を確かめていく力を磨くという授業でした。午前中に開催した運営指導委員会の先生方にも授業を参観していただき、賞賛の言葉を多くいただきました。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

5月13日から6月15日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、6月16日から7月10日までの行事予定についてお知らせした。

7 閉 会